

科学鑑定とえん罪

科学鑑定は、捜査において活用され、刑事裁判において重要な証拠の一つとして利用されている。科学鑑定では、鑑定自体の科学的信頼性およびその過程の正確性が求められるが、その前提として、捜査機関における鑑定資料の収集と保管の適正性が重要な問題となる。それらの過程の正確性・適正性が十分でない場合には、科学鑑定がえん罪の原因になり、えん罪からの救済をも困難にする。

本講演では、実際の捜査で科学鑑定を行ってきた専門家が、具体的なケースに基づいて科学鑑定や捜査の実状を明らかにし、科学鑑定および鑑定資料の収集と保管に関する問題点や改善策について検討する。

講演

平岡 義博 氏

立命館大学特別招聘教授

元京都府警察科学捜査研究所主席研究員

コメント

浅田 和茂 氏

立命館大学大学院法務研究科教授

司会

山名 京子

証拠の収集と保管研究班主幹

大学院法務研究科教授

聴講無料
申込不要

2017年

3月10日(金)

15:30~17:30

関西大学千里山キャンパス

児島惟謙館 1階第1会議室

問い合わせ先

関西大学 研究所事務グループ

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35

TEL:06-6368-0329 FAX:06-6339-7721

E-mail :hogakuken@ml.kandai.jp

